

## ホルター心電図を用いた睡眠時無呼吸症候群スクリーニングの有用性

◎高本 智史<sup>1)</sup>、中嶋 穂乃佳<sup>1)</sup>、近藤 香<sup>1)</sup>、林 健太<sup>1)</sup>、棉本 友香<sup>1)</sup>、藤田 啓介<sup>1)</sup>、田中 浩一<sup>1)</sup>  
JA 愛知厚生連 豊田厚生病院<sup>1)</sup>

【緒言】睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome:SAS)は睡眠時の無呼吸低呼吸発作により、日中の眠気や活動意欲低下のみならず、近年では心血管疾患との関連も広く知られている。一方、周期性心拍変動(Cyclic Variation of Heart Rate score :CVHRs)はホルター心電計に搭載されている就寝中の心拍変動を検出できる機能であり、SAS 患者において CVHRs が高値になるとされている。当院では 2022 年 12 月よりホルター心電図装着患者に対し、CVHRs の報告を行っている。今回、SAS の検出を目的とした CVHRs の有用性について報告する。

【使用機器・解析】ホルター心電計：FM960、検査室外睡眠検査(Out of Center Sleep Testing:OCST)：スマートウォッチ PMP-300、睡眠ポリグラフ検査(Polysomnography:PSG)：Embletta MPR を使用。SAS 検査の解析はいずれも AASM VER 2.5 に基づき院内技師によるマニュアル解析を行った。

【期間・対象患者】2022 年 12 月～2023 年 11 月に CVHRs 陽性(CVHRs $\geq$ 15/hour)となり、OCST または PSG(若しくはその両方)を施行した 53 例(男性 34 例・女性 19 例、

平均年齢 64 歳、年齢 21 歳～85 歳)

【方法】SAS 検査のいずれかで正常・軽症・中等症・重症と診断された症例および持続陽圧呼吸(Continuous Positive Airway Pressure:CPAP)療法保険適応患者の症例を調査した。

【結果】CVHRs 陽性で SAS 検査が施行された 53 例のうち SAS 陰性例は 8 例(15%)であり、SAS 陽性例は 45 例(85%)であった。その内訳は軽症 13 例、中等症 16 例、重症 16 例であった。CPAP 療法保険適応を満たす症例は 15 例であった。このうち 10 例においては CPAP 療法が開始された。

【考察】CVHRs 陽性症例のうち SAS 陽性症例は 85%であり、SAS の検出に有用であった。また、この期間中 10 症例において CPAP 療法が開始され、適切な早期治療へと導くことができた。ホルター心電図のオーダーは循環器内科が中心であり、心血管疾患への影響を考慮すると CVHRs を報告する意義は高いと考えられた。

【結語】SAS の検出にホルター心電図を用いた CVHRs は有用である。

連絡先：0565-43-5000（内線：1600）